

次のストップ: 鉄道の増設.

レイルトランジットモード ファクトシート

その他の土地で使われているモード (続き) モノレール

- > 第3の線路またはワイヤーによって起動されています。
- > 典型的には頭上(高架)
- > 典型的なステーション間の距離: 0.5マイルから1マイル
- > 乗客定員: 約 60人/1車両
- > 電車は6車両まで連結できます。
- > 最高速度時速 40-50 マイル
- > 平均速度時速 18-30 マイル
- > 現在特別に使用されている例: Disneyland、Las Vegas、Air Train JFK、Seattle、Detroit People Mover、日本、ドイツ

トラム/ストリートカー/トロリー (用語は互換的に使用されます。)

- > 頭上のカタナリーワイヤーにて起動されます。
- > 一般的にその他の車両と同時に路上を
- > 走行しますが専用のガイド路内を運行することもあります。
- > 乗客定員: 不定
- > 平均速度時速 32 マイル
- > 典型的なステーション間の距離: 0.25マイル毎
- > 現在他所で使用されている特別な例: San Francisco、Portland (WA)、Dallas、Washington、D.C.

パーソナルラピッドトランジット (RPT)

- > 電気によって起動
- > ステーション: 典型的には間隔は近いがその他の車両が通過しやすいように端の線路上にあります。
- > サイズによってカー/ポッドは1人から20人を搬送します。
- > 典型的には小規模の閉鎖されたシステム内で運行します。
- > 現在使用されている特別な例: Morgantown (WV)、Masdar City (アラブ首長国連邦)、Suncheon (韓国)



電車はただの電車ではありません-多種のタイプがあります。

Metro は現在工事中または計画中の新しいプロジェクトを含めて鉄道のネットワークを拡大し続けています。この計画は各タイプの鉄道がどのような特徴と操業上の特質をもっているかを査定評価することも含まれています。鉄道のタイプはトランジットの”モード”として表現されます。

新しい鉄道ラインの計画と環境調査のプロセスの期間には多くの要因が考慮されモードを決定します。

これらの要因とはコスト、利用可能な予算、運搬能力、スピード、乗車需要、あるいはもし調査中のプロジェクトが既存のラインの延長である場合にはアーバンフィット(都市にマッチするか)またラインのメンテナンスや倉庫施設の有無を含みます。以下の情報は現在動作しているモードの現在のパフォーマンスに基づいており、パフォーマンスが向上し新しいモードが利用可能になるにつれて更新されます。環境調査の詳細やその他のトピックについては私共の別のファクトシートをごらんください。

現在LAカウンティで操業中のトランジットモード

ライトレイル

Metro は現在ライトレイルはBlue、Gold及びExpo ラインを操業しています。現在5か所のレイルメンテナンスと倉庫用施設がこれらのラインのために使用されています。現在建設中のCrenshaw/LAX 及び Regional Connectorの2本のプロジェクトがこのネットワークに追加されます。MetroはCrenshaw/LAX ライン及び延長される Green ラインのサービスを行うための新しい Southwest レイルメンテナンスヤードを建設中です。

ライトレイルの特性は以下を含みます:

- > 頭上のカテナリーワイヤーによって起動します。
- > 典型的なステーション間の距離: 1マイル
- > 頭上(高架)、地下、また路上を走行できます。
- > 乗客定員: 135人/1車両
- > ピーク時間帯にはMetroの車両は
 - 3両編成まで接続可能
 - 1車両に最高405人まで運搬できます。
 - 5分から6分おきに運転できます。
- > 最高速度時速55-65マイル
- > 平均速度時速24-35マイル



ライトレイル - Metro Gold Line

ヘビーレイル

Metro は現在ヘビーレイルはRedとPurpleラインを操業しています。Purple ラインの9マイルの延長が現在工事中です。一か所のレイルのメンテナンスと倉庫施設が現在サービスを行っています。そこは拡張されPurpleラインの延長部分のサポートを行います。ヘビーレイルの特性

は以下を含みます:

- > 3番目のレイルによって起動されます。
- > 典型的なステーション間の距離: 1から2マイル
- > 頭上(高架)または地下のみを走行します。
- > 乗客定員: 135人/1車両
- > ピーク時間帯にはMetroの車両は
 - 6両編成まで接続可能
 - 1本の電車で最高810人まで運搬できます。
 - 5分おきに運転できます。
- > 最高速度時速70マイル
- > 平均速度時速32マイル



ヘビーレイル - Metro Red Line

通勤者(または乗客)レイル

MetroLink は通勤者レイルを Los Angeles Union Stationから San Fernando Valley、North County、San Gabriel Valley、Southeast LA County 及び近辺の Ventura、Orange、Bernardino およびRiverside カウンティまでを接続し操業しています。Amtrak はシティ間の乗客レイルサービスをアメリカ合衆国全域で操業しています。Southern Californiaでは Pacific Surflinerが San Luis Obispo と San Diego間をMetroLinkと多数のステーションをシェアしながら操業しています。

通勤者レイルの特性は以下を含みます:

- > 機関車が起動させます。
- > 典型的なステーション間の距離: 5マイル
- > 一般的には地上レベルを走行します。
- > 貨物列車と線路を共有が可能な場合もあります。
- > 特別な交差点や山岳地帯のトンネルを通じて頭上や地下を走行する場合もあります。
- > 運賃は走行距離を基にし定められます。
- > 特別にスケジュールされた時刻表で以下を含みます:
 - ピーク時間帯には 15-30分おきの間隔です
 - ピーク時間帯以外にはそれほど頻繁ではありません。
- > MetroLink:
 - 乗客の座席定員: 140席/1車両
 - 4両から6両編成までが可能
 - 最高速度時速 79 マイル
 - 平均速度時速 36 マイル
- > Amtrak Pacific Surfliner:
 - 乗客の座席定員: 70席/1車両
 - 6両編成までが可能
 - 最高速度時速 79 マイル
 - 平均速度時速 43 マイル
- > 車両搭載のアメニティは以下を含みます:
 - 化粧室
 - 飲料水用ファウンテン
 - 食事、読書、仕事用のテーブル
 - エレクトロニクスの充電用コンセント
 - 荷物、自転車、手荷物用の収納スペース
 - Wi-fi 及びcafé car(食堂車) (Amtrak のみ)



通勤者(または乗客)レイル - MetroLink

その他の土地で使われているモード

ハイスピードレイル

(2種類のハイスピードレイルのタイプがあります)

通常の車輪:

- > 電気で起動、電気または燃料システム
- > 線路は建設されるか特別に高スピードのためにグレードアップされています。
- > 典型的なステーション間の距離は特定ではないが普通は路線上の市の中心部間を結びます。
- > 頭上(高架)または地下、あるいは路上のレベルを独自の優先権をもって走行できます。
- > 最長12車両まで連結できますが通常は7から9両編成です。
- > 乗客の座席定員: 65-75人/1車両
- > 特別にスケジュールされた時刻表
- > 最高速度時速 350 マイル、平均速度時速 150-200 マイル
- > 現在は特別な地域のみで運行: アジア、ヨーロッパ

MagLev (磁気浮上):

- > 磁気浮上の力で起動、飛行中の安全性をコントロールし発動と浮上を起こさせる磁石を使用したガイド路に沿って車両が移動します。そのため乾燥した摩擦による機械上の制約を除去することができます。
- > 線路は MagLev(磁気浮上) 専用特別に建設されます。
- > 典型的なステーション間の距離は不定ですが路線にそったシティセンター間を結びます。
- > 頭上(高架)または地下を走行できます。
- > 乗客の座席定員: 65-70人/1車両
- > 特別にスケジュールされた時刻表
- > 最高速度時速 375 マイル; 平均速度は不定です。
- > 現在操業している特別な例: 日本